



『りんステファイル』をみんなが知り、支援に役立てるだけではなく、災害時に活用できるものにバージョンアップするためにも、みんなで意見を出し合いました。19名の参加がありました。

話題提供



もみじの家では『りんステファイル』を家族との初回の面談の時に使っています。

更新が出来ていない状況なので、今日の皆さんのお話を聞いて、書きやすいものになればと思います。

あかいわ児童発達支援センター
平中 健 所長

当事者のことを正しく知ってもらう事を目的にサポートブックが作られ、りんくステーションでは『りんステファイル』を作成しました。『りんステファイル』は家庭・教育・福祉をつなぎ、ライフステージが変わっても、当事者の理解や支援が一貫して受けられるために活用してもらいたいものです。

災害時に活用できる情報も『りんステファイル』に集約していくかと思いますので、皆さんのご意見をお願いします。

りんくステーション
三村 ゆかり氏



りんくステーション
三村 ゆかり氏

グループワーク



参加者からの感想

- 大切な内容だったと思います。改めて、保護者の想い、(作る側)受け取る側の認識とのマッチングが難しい現実がまだまだあります。きっと続けていくことで社会全体に浸透していくのかなと思いました。保護者もがんばって、作っていきたいと思いました。(保護者)
- りんステファイルの活用について、改めて考える良い機会になりました。活用について悩む部分もあったため、いろいろな方の意見が聞けて解決のヒントを得られた気がします。(療育等事業所)
- りんステファイルを実際に見て、記入できたことはよかったです。(療育等事業所)
- 当事者の方(記入項目が当てはまらない)の意見を聞き、全ての方の対象ではないのかな?もっと配慮が必要なのかな?と思いました。相談員としては、活用したい部分がたくさんあり、初回面談に来られた時に一緒に記入する方法もあると思いました。(相談支援事業所)